

# 実践ライブラリー:高等部 スピカ職業「レクリエーションを企画し届けよう」



- 自分のできるところを見てもらい、褒めてほしい。
- 自分の主張はできるが、自己展開してしまいがちである。

- お客様の視点に立って、考えることができてほしい。
- グループディスカッションでいろいろな考えに触れさせたい。



## ① ニーズをとらえよう

- 事前交流(質問・簡単なゲーム)の場を設け、利用者さん像が分かるようにしました。
- 質問タイムでは、記録役を任せることで自己展開することなく役割に専念できました。



### 子どもの反応

任された記録を報告することを通して、クラスメイトより評価され満足でした。

## ② レクを企画しよう

- バランスを考えてグループ分け(3名、3グループ)をしました。頼りになる3年生が大筋リードしながら、1年生に対しても教える立場の構成にしました。
- 企画したクイズに対して、途中「利用者さんとの接点はある？」と何度も投げかけました。

### 子どもの反応

3年生の進行に積極的に意見をあげることができた。1年生からも「いいね」の評価をもらい誇らじげ!(^\_^)!



## ③ 交流会で喜んでもらおう

- レクの発表のない時は、同様に別室より参加して、同じ視点で楽しみ、外側から盛り上げました。
- 交流回数を積み上げる度に、学校、高齢者施設、双方に相手を知り、意識できるようになり、次回を期待してもらうようになった。



### おすすめポイント

オンラインは、距離感や空気感がつかみにい所もありますが、生徒達はオンラインだからこその手軽感があり、意欲的に活動することができた。シュミレーションやレコーディングして振り返りもしやすいです。